



## 「使徒の時代」

ジャパン・カルバリー・フルセード  
巡回伝道者

### 福澤満雄

「教会は彼のために、神に熱心に祈り続けていた。」使徒12章5節

「ヨハネの母マリヤの家へ行った。そこには大勢の人が集まって、祈っていた。」12節

使徒の働きの時代には、教会も信徒の家庭も、問題に直面した時に多くの人が集まり、心を一つにして、熱心に祈っていました。祈りこそすべての解決の糸口です。

祈りは応えられて、奇跡が起き、ペテロは獄中から解放されました。ハレルヤ！

教会もクリスチャンの家庭も、試練は付きものです。その時、私たちは老いも若きも一所に集まり心を一つにすることができるのです。東日本大震災の時も、私たちはこのことを経験しました。絆がしっかりと結ばれました。教団教派を超えて一つになり、熱心に救援活動と宣教に今もいそしんでいます。平和無事な時では考えられないようなことが起きたのです。

主は、今わたしたちに何を語っているのでしょうか？

いつの時代も、神様は忠実な信徒を用いてくださいました。信徒中心の働きは、東京プレーヤーセンターの働きも、ブルーリボンの祈り会も、父の学校も、ギデオン協会、朝禱会、ブリッジス・フォー・ピース、国家晩餐祈禱会など数え上げたらきりがありません。

地方教会の頭はイエス様。土台はみ言葉です。そして、教会の柱は信徒です。その地に根を下ろして生活している信徒の証しと力を主は用いて下さるのです。

日本のリバイバルは信徒運動から始まると私は信じています。

巡回伝道者として、日本中の教会を26年間見せていただきました。そして驚きと感動を頂きました。それはどのような地方教会にも、必ず、油注がれた信徒がおられるということです。神様は日本の教会を愛して、リバイバルの準備をさせておられます。

## TPCの活動目的

- (1) 超教派として活動する。
- (2) 毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う。
- (3) 閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える。
- (4) 伝道、学びなどのために貸室を提供する。